

見積もり～請求 業務フロー説明資料

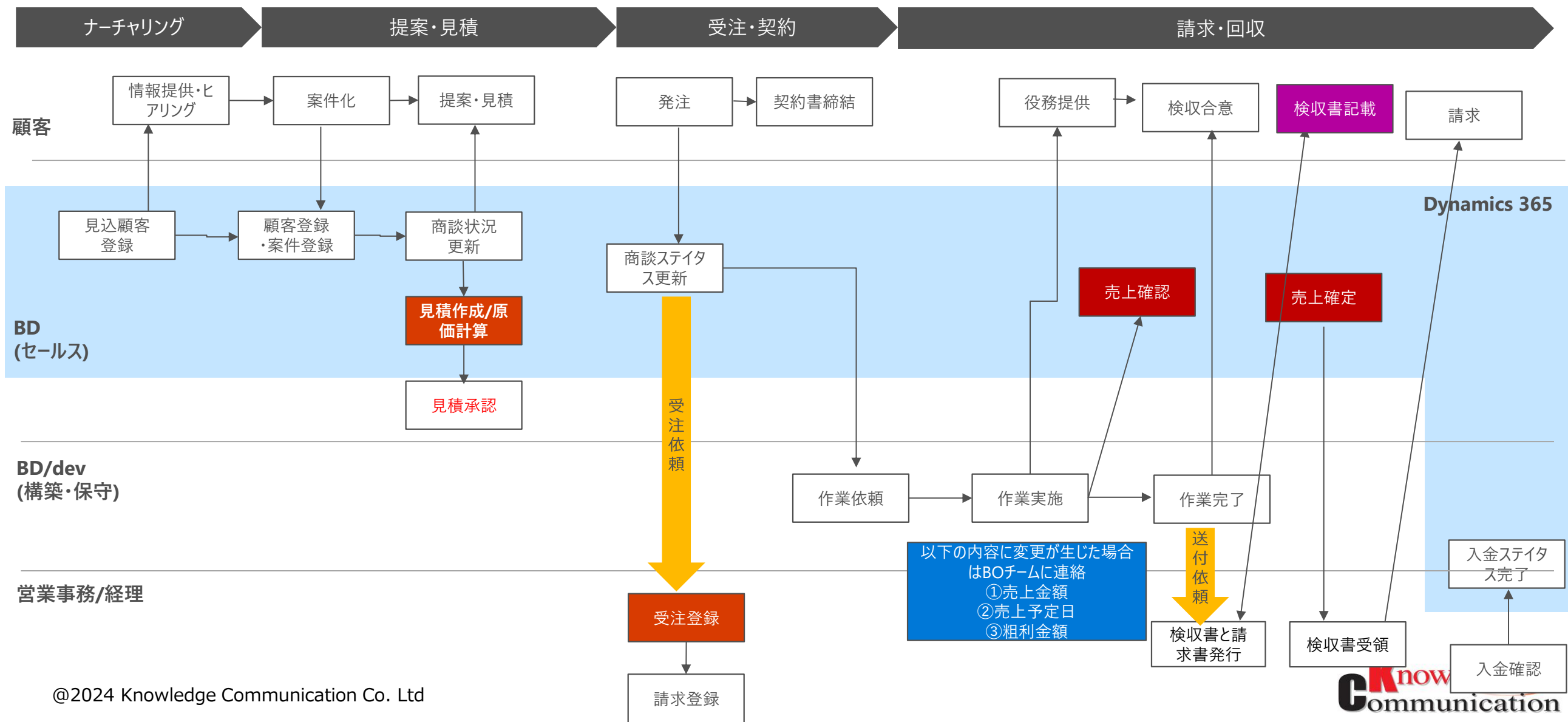
2025年8月26日時点

株式会社 ナレッジコミュニケーション

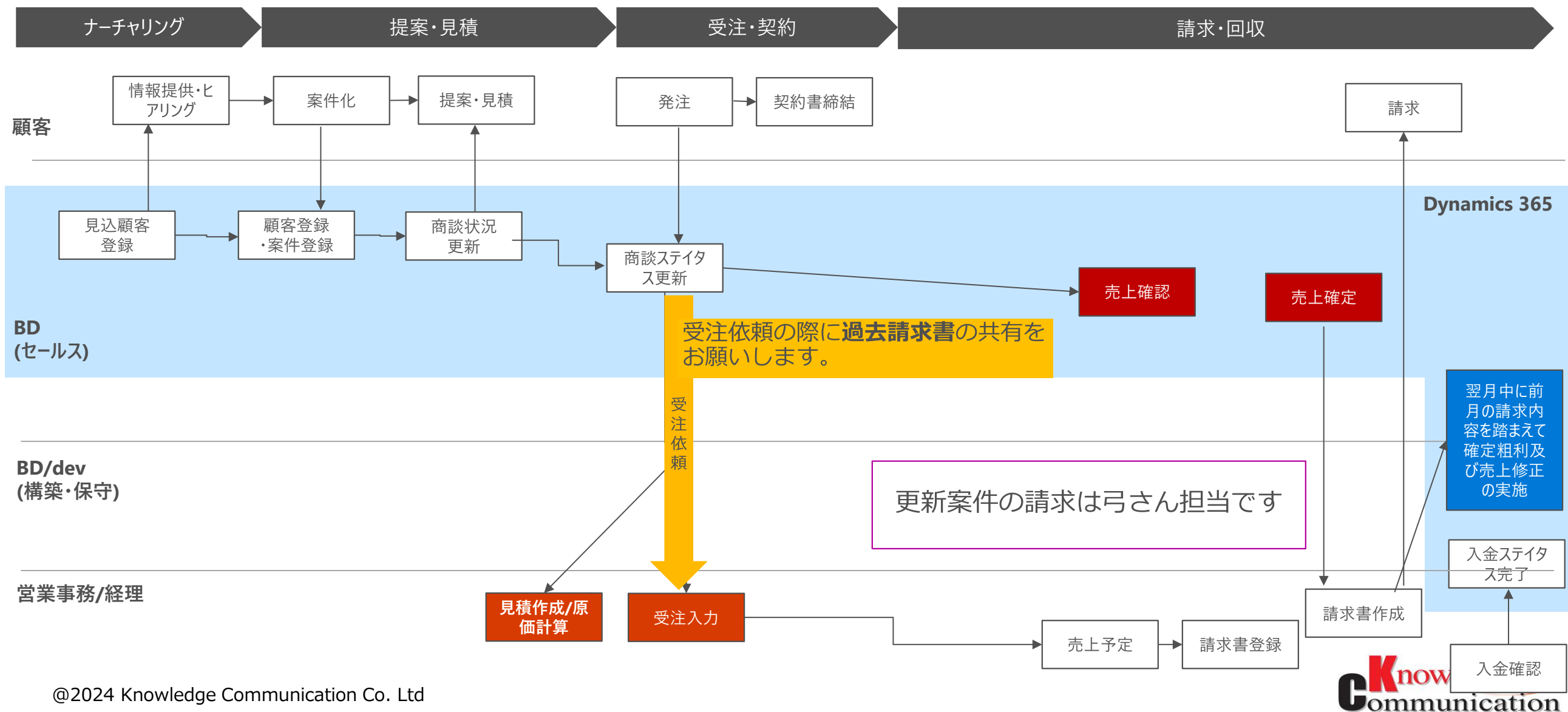
本資料はBOから新入社員の方向けに以下をまとめています。

- ・ 全体像
- ・ 受注処理に必要な情報
- ・ 検収基準の共有
- ・ 新規で月次請求を始める場合に必要な情報

売上/粗利管理のためのオペレーションの変更



売上/粗利管理のためのオペレーションの変更（更新案件）



見積もり承認～稟議の考え方について

プロジェクト予算/粗利の考え方	リーダー/マネージャー	役員（奥沢）	役員ALL
案件金額50万以下/粗利30%以上	●		
案件金額50万以下/粗利30%以下	●		
案件金額50万～100万/粗利30%以上	●		
案件金額50万～100万/粗利30%以下	●	●	
案件金額100万以上/粗利30%以上	●	●	
案件金額100万以上/粗利30%以下	●	●	●

■備考

- ・粗利が低い場合、粗利が低くてもビジネスとして魅力があるものか、ナレコムとしてやるべきなのかを判断するため
- ・パートナーに発注をする場合は金額の大小に関わらず社長承認まで必要とする

Dynamics登録～入金確認完了までのまとめ

BD：案件の発生から受注までを主導

- ①dynamics案件登録・商談状況の更新
- ②見積作成・原価計算
- ③受注依頼（営業事務への引き渡し）

BO：受注以降のシステム登録・書類発行を担当

- ④受注依頼を受けて受注処理
- ⑤検収書作成（※依頼あれば送付）
- ⑥請求書作成（※弓さんが担当）
- ⑦入金ステータス更新（回収業務の完結）

製品品目登録

タイミング：Dynamics見積書作成前

[Dynamics価格表](#)から該当項目(D列)を探し登録を行う

製品品目未登録のものがあれば小泉さんに依頼する

- ・ マネージドは項目ごとに製品品目を入力する
- ・ 単価(税抜)、税額を別で入力する
- ・ 表示価格が異なる場合は、価格指定で「出荷単価ごとの価格」を手入力

見積登録

タイミング：Dynamics製品品目登録後

※製品品目に登録した内容でその後の見積～請求書まで金額が固定となるため、
内容に変更があった場合は製品品目から再度作成する

受注

押印済注文書や内示を頂いたら
BOに受注登録依頼をお願いします。
以下共有をお願いします。

- ①該当Dynamics
- ②粗利額確認シート
- ③受注日
- ④売上日（作業完了日）

【売上日】	
●初期のみのもの	
SSL証明書系	作業開始日
構築・開発作業	作業完了日
バウチャー	納品日
●継続的なものの開始月	
マネージ・保守	開始月月初
請求代行	開始月月初
●継続的なものの2か月目以降	
マネージ・保守	月初
請求代行	月初

粗利の出し方

タイミング：Dynamics見積登録前

格納先(com_sales > Dynamics関連 > 売上管理 > [粗利額確認シート](#))

※粗利額確認シートのフォーマット

[顧客 案件名.xlsx](#)

○ファイル保存先：[17期：2024年10月-2025年09月](#)※売上日基準

○ファイル名命名規則：顧客名_案件名

○ファイル保存規則：案件ごとにファイルを分ける

粗利の出し方 粗利額確認シート

【入力内容】

- ・見積書内容
- ・原価単価
- ・原価合計

粗利額計算シート									
種別	品目	数量	単価	価格	原価単価	原価合計	粗利額	粗利率	
	パウチャープラン99800	5	¥86,101	¥430,505	81101	¥405,505	¥25,000	6%	
							¥0	#DIV/0!	
							¥0	#DIV/0!	
							¥0	#DIV/0!	
							¥0	#DIV/0!	
							¥0	#DIV/0!	
							¥0	#DIV/0!	
小計				¥430,505		¥405,505	¥25,000	6%	
							¥0	#DIV/0!	
							¥0	#DIV/0!	
							¥0	#DIV/0!	
							¥0	#DIV/0!	
							¥0	#DIV/0!	
							¥0	#DIV/0!	
							¥0	#DIV/0!	
消費税				¥43,051			¥2,500	6%	
合計				¥473,556			¥27,500	6%	
粗利額	¥27,500 -Dyanmicksに入力								
	最終版の見積もり書からコピペ								
	手動入力								
※2023年1月時点の粗利額は工数は除き、実原価（クラウド利用料、外注費用等）に基づいた計算とする。									

粗利の出し方

見積書の項目ごとに原価を確認する

※概算工数のナレコム人件費は含みません。ナレコム側の作業のみで実費0の場合は原価0となります。

AWS利用料	販売価格の100%
AWS代行費用	0
Azure利用料	販売価格の85%(*0.85)
Azure代行費用	0
Azureバウチャー費用	固定 Dynamics粗利用
Partnerの保守・作業費用	Partner作業金額
SSL証明書	種類毎に異なる
Deep Security as a Service	19,800/台(税抜)
マネージド	価格表 v76 (EFSスループット 追加) ver2.xls ⇒N列の実原価 オプション 24時間365日障害対応：0
その他	独自ドメイン取得管理：200/台(税抜)

粗利の出し方

見積書の項目ごとに原価を確認する

※概算工数のナレコム人件費は含みません。ナレコム側の作業のみで実費0の場合は原価0となります。

Trend Micro Cloud One ライセンス費用	CEC請求書のDeep Security IT Protection Serviceが該当 単価は¥ 19800（CEC請求書上に¥ 2000乗っているので合計 額に2000足すこと。）
Trend Micro Cloud One 運用サポート費用	原価 0
バックアップ世代数追加（2世代以降）	スループット表 266行目
Amazon Virtual Private Cloud(PublicIPv4)	
cloudfront転送量	価格表 CDN欄

検収基準について

発注者が納品された物品やサービスが、契約や発注内容に従って適切に納品・提供されたかを確認しその品質や数量が問題ないかを検査するプロセスです。

作業完了・検収をもって、支払いの手続きが進行します。

【検収フロー】

次ページの要件を満たした場合⇒客先へ送付⇒客先担当者押印をもって完了

【請求フロー】

上記の検収終了 → 請求書発行 → 入金確認 が標準フローとなっています。

作業完了日を基準とし翌月末支払いが原則となります。

請求が翌々月等、例外対応は小泉さん・奥沢さんの事前承認を得て請求書発行依頼時にご連絡ください。

キャッシュフロー厳守のため、作業完了後は検収および請求を迅速にご対応ください。

検収基準について

プロジェクト完了時に顧客と検収（売上）の確認をする際には以下の内容が満たせるか確認をお願い致します。

- ①契約書・発注書に定められた納品条件（成果物、範囲、納期）を満たしていること
- ②合意済みの成果物を顧客に提出し、受入テスト・確認を経て承認を得ていること
- ③納品方法・日付が記録され、納品証跡が残っていること
- ④社内品質管理チェックが完了していること
- ⑤残課題がある場合は、顧客と書面またはメールで合意し、対応内容・期日を明確化していること
- ⑥検収書を顧客から受領していること

※④社内品質管理チェックは主に以下の内容になります。

- ・形式的品質（見た目・表記の統一）
- ・技術的品質（コード・動作テスト）
- ・納品物の完全性（揃っているか）
- ・リスク・コンプライアンスチェック(顧客提供物に含めてはいけない社内専用情報が入っていないか等)

新規で月次請求を始める場合のフロー

★月次請求に必要な情報★

①初回請求の対象期間

②いつまでに発行するか(通常、翌 4 営業日発行当月末日支払い期限)

③以下リンクのシートへa~dの対応

[【見積書・納品書・請求書】 xxxxxxxx 顧客名\(件名\)〔読み取り専用で開き名前を付けて保存〕外税版.xlsx](#)

- a. ファイルは読み取り専用で開き別名保存でご利用ください
- b. 基本情報シートのB列を埋めてください（宛先/支払いサイクル/発行方法/アドレス/明細有無 等）
- c. AWS利用料の他に保守等があればフォーマットシートに品目/金額いれてください(見積Excelあれば共有ください)
- d. 基本的に 1 アカウントにつき 1 枚の請求書で代行費用はAWS利用料の10%(最低費用5000円)です。複数アカウント合算請求や代行費用パーセンテージの特別設定があればお知らせください

④対象AWS アカウント ID

上記①～④を揃え、弓さん・小泉さんへ連絡してください。